

かんきょうもんだい
グラフや表から環境問題を考える 日本固有種

① 森・林・草原にすむ生き物

もくじ

「固有種」ってなに？ 4

固有種をおびやかす森林伐採 6

- イリオモテヤマネコ 8
- オガサワラオオコウモリ 9
- ニホンザル 10
- ニホンテン 11
- ヤマネ(ニホンヤマネ) 12
- ニホンモモンガ 13
- バーバートカゲ 14
- ヤンバルテナガコガネ 15

固有種をおびやかす外来種 16

- アマミノクロウサギ 18
- ニホンリス 19
- ニホンイタチ 20
- ヤンバルクイナ 21

らんかく 乱獲で数を減らす固有種 22

- ミヤコカナヘビ 24
- クロイワトカゲモドキ 25

森・林・草原にすむさまざまな固有種

- ニホンカモシカ 26
- ムササビ(ホオジロムササビ) 27
- ニホンノウサギ 28
- ニホンノウサギの亜種 29
- アズマモグラ 30
- モグラの生息域あらし 31
- ハブ(ホンハブ) 32
- 日本にいるおもな毒ヘビ 33
- 小笠原諸島の陸産貝類 34

ち きゅうおんだん か さんせい う
地球温暖化・酸性雨・農薬 36

表やグラフを使いこなそう！ 38



について

本書の動物図鑑のページで、動物名のよこにある「環境省レッドリスト」のアルファベットは、環境省が指定しているカテゴリー（下表）と対応しています。

環境省のレッドリストのカテゴリー

EX	絶滅	日本ですでに絶滅したと考えられる種
EW	野生絶滅	飼育や栽培のもと、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種
CR	絶滅危惧ⅠA類	ごく近い将来、野生では絶滅する危険性が極めて高い種
EN	絶滅危惧ⅠB類	ⅠA類ほどではないが、近い将来、野生では絶滅する危険性が高い種
VU	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅する危険性が増大している種
NT	準絶滅危惧	現時点で絶滅する危険性は少ないが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」となる可能性のある種
DD	情報不足	評価するだけの情報が不足している種
LP	絶滅のおそれのある地域個体群	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い種

※本書に掲載されている各種データは、2020年3月の原稿執筆時に入手したデータにもとづいて作成されたもので、現状と一致しない場合があります。

「固有種」ってなに？

日本は、世界有数の「固有種」生息地

野生の生き物のなかには、かぎられた地域でしか見られないものがたくさんいます。たとえば、サルのなかでも、ニホンザルは日本にしか生息していませんし、ワオキツネザルはマダガスカルにしか生息していません。このように、特定の国や地域にしか生息していない生き物の種を「固有種」といいます。

日本は、世界でも有数の固有種生息地といわれています。たとえば、日本で陸に生息するほ乳類107種のうち、48種が固有種です。一方、日本と同じ島国のイギリスには、陸に生息するほ乳類が42種いますが、固有種はおらず、すべて対岸の地域にいる種と同じです。

日本とイギリスの面積と固有種(陸生ほ乳類)の数

	日本	イギリス
国土面積	約37.8万km ²	約24.3万km ²
陸生ほ乳類の数	107種	42種
うち固有種	48種	0種
面積10,000km ² あたりの陸生ほ乳類の数	2.83種	1.73種
うち固有種	1.27種	0種

(今泉忠明作成)

なぜ、日本には固有種が多いの？

では、なぜ、日本には固有種が多いのでしょうか？

今から約300万年以上前、日本が大陸と陸続きだった時代は、多くの生き物が大陸と今の日本列島とを行き来していました。その後、数百万年の時が流れるあいだに、日本列島は大陸から分断されていきます。その過程で、奄美群島や沖縄諸島などの離島が生まれ、長

いあいだほかの島から隔離されたことで、残された生き物が独自に進化をとげたのです。

また、日本列島の地形は南北に長く、亜寒帯気候と亜熱帯気候の地域があり、標高の高い山地も多いことから、さまざまな生物がくらせる環境がととのっています。そうやって、多様な生き物が、環境に順応して生きてきたのです。

日本列島の成り立ち



(『地球の歴史 下』鎌田浩毅著 [中公新書] より作成)

天然記念物と保護

時代が進むにつれ、生き物がくらしてきた環境もだんだんと変化しています。とくに現代では、この本でも紹介しているようなさまざまな環境問題によって、固有種をはじめ、さまざまな生き物の数が減っているのです。

そこで、日本では、将来にわたって守るべき生き物を保護する取り組みとして、「文化財保護法」という法律にもとづき、学術上価値の高い動植物を「天然記念物」、そのなかでもとくに重要なものを「特別天然記念物」に指定し、保護や保存をするための活動が行われています。また、絶滅するおそれの

ある動植物を「絶滅危惧種」に指定しています(→もくじページ)。

日本の天然記念物(動植物)

特別天然記念物



天然記念物



(2020年4月1日現在)

ほ乳類

イリオモテヤマネコ



2020 年
CR



写真：環境省西表野生生物保護センター

学名 *Prionailurus bengalensis iriomotensis*

分類 ネコ目ネコ科

体長 50 ~ 65cm (尾長 20 ~ 25cm)

体重 オス 3.5 ~ 5kg
メス 3 ~ 3.5kg

分布 西表島 (国の特別天然記念物)

どんな生き物？

世界で西表島だけに生息する野生のネコです。大きさはイエネコくらいですが、しっぽが太く、目のまわりに白いふちどりがあります。耳は丸くて、耳の後ろの白いもようが特徴です。ネコの仲間なのに水をいやがらず、泳ぎが得意です。

どんなくらしをしているの？

繁殖の季節以外は単独で行動しています。夜行性で、明け方や夕方に林のなかを歩き回り、ネズミやコウモリ、トカゲ、ヘビ、カエル、昆虫、鳥などいろいろな動物をつかまえて食べます。魚やカニもえものにします。

イリオモテヤマネコは、1965 年に発見されました。2 年後、新種のネコとして発表されると、「20 世紀最大の発見」というニュースが世界中をかけめぐりました。

ほ乳類

オガサワラオオコウモリ



2020 年
EN



写真：尾園 暁

学名 *Pteropus pselaphon*

分類 コウモリ目オオコウモリ科

体長 20 ~ 25cm

体重 390 ~ 440g

分布 小笠原諸島 (国の天然記念物)

どんな生き物？

全身を黒い毛でおおわれた大型のコウモリで、つばさを広げると 80 ~ 90cm になります。小型のコウモリのように超音波を発信することではなく、視覚と嗅覚を使って食べ物の果実などをさがします。

どんなくらしをしているの？

森林に単独または群れで生活しています。ほぼ夜行性で、昼間は木の枝にさかさにぶらさがって休み、夜になると飛びまわり、タコノキ、パパイヤなどの果実、花のみつ、葉などを食べます。冬は集団になり、森のなかにねぐらをつくって休みます。

オオコウモリの仲間は、果実を食べると水分だけ飲みこみ、繊維質や種ははきだしてしまいます。これをペリットといい、森の木を育てるだじな働きをしています。

交通事故からイリオモテヤマネコを守れ

イリオモテヤマネコの生息数は年々減少し、現在約 100 頭と推定されています。生息数が減少した原因のひとつに交通事故があります。西表島ではイリオモテヤマネコを守るため、目撃情報をもとに運転注意マップを作成したり、道路標識を立てたりして注意をうながしています。

西表島におけるイリオモテヤマネコの交通事故件数



column

開発によって絶滅の危機に

オガサワラオオコウモリは、小笠原諸島の父島、母島、火山列島(北硫黄島、硫黄島、南硫黄島)に生息しています。現在の推定生息数は 200 ~ 300 頭で、その多くは父島にすんでいます。しかし父島でも、開発によって冬季のねぐらになる森林が減少していて、絶滅が心配されています。



column